

2012年8月7日

報道関係者各位

No.60123

株式会社東陽テクニカ

**英国 PRQA 社製ソースコード静的解析ツールが
ISO 26262 および IEC 61508 の認証を取得
（“QA・C8.0”、“QA・C++3.0”）**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区・社長：五味 勝）は、当社取扱い製品である英国 Programming Research 社（以下、PRQA 社）製ソースコード静的解析ツール“QA・C8.0”および“QA・C++3.0”が、IEC 61508:2010 および ISO 26262:2011 の正式版の認証を受けたことを発表しました。

- *ソースコード： 人間がプログラミング言語を用いて記述したソフトウェアの設計図。
- *IEC 61508： IEC（国際電気標準会議）が制定した、プロセス産業における電気・電子・プログラマブル電子の機能安全に関する国際規格。
- *ISO 26262： IEC61508 を Basic Standard として、作成された自動車用の機能安全規格。

上記規格への準拠を達成するうえでの「目的に適合する」ツールとして第三者認証機関である独 TÜV SÜD Automotive 社 による認証を受けたのは、「MISRA-C:1998 または MISRA-C:2004 適合度評価モジュールを搭載した QA・C8.0」および「MISRA-C++:2008 適合度評価モジュールを搭載した QA・C++3.0」です。

- *MISRA C： MISRA が出版した、C 言語ソースコードの品質を高めるためのガイドライン。MISRA は、英国に本部があるソフトの信頼性を高める研究を行っている団体。
- *MISRA C++： MISRA が出版した、C++ 言語ソースコードの品質を高めるためのガイドライン。

産業プラントやインフラ設備をはじめ、電子機器を搭載する様々な分野における安全なシステムの設計指針を定めた IEC61508 や、自動車を開発する為に有効と考えられる開発手法や基準、指針を体系化した ISO26262 は、「機能安全」（＝“仮にある機能や部品が故障しても、システムそのものの安全性を確保する”という考え方）の思想のもと、日本の製造業においても自社製品への適用が求められてきております。

また、両規格への対応に際し、電子機器の制御等で重要な役割を担うソフトウェアの品質確保は必須の項目と言えます。

こうしたなか、ソフトウェア開発フェーズにおいて“QA・C8.0”及び“QA・C++3.0”による静的解析を行うことにより、コーディング（＝ソースコードの作成）担当者は追加の時間・コストを払うことなく IEC61508 及び ISO26262 への対応を実現することができます。

当社では、産業プラントやインフラ設備は勿論のこと、自動車をはじめとしたソフトウェア制御機能の欠陥が「人命」、「健康」といったユーザーの安全確保に影響を与える製品のソフトウェア開発現場に対して積極的に QA・C8.0[®] 及び “QA・C++3.0[®]” をご提供することで、日本の製造業における機能安全への取り組みを強力にサポートしていきます。

[英国 Programming Research 社について]

PRQA は 1986 年に創立され、業界内で「コーディング規約の専門家」として認識されています。PRQA はコーディング規約検証ツールを世界で初めて開発し、現在ではその専門技術を、業界随一のソフトウェア検証および規格準拠検証のテクノロジーを通して、世界中に普及させています。PRQA の事業所は英国、米国、インド、アイルランド、およびオランダにあり、その他世界中に流通ネットワークが構築されています。

PRQA の業界トップツールである QA・C および QA・C++ は、C と C++ のコードを可能な限り厳密に検証します。両製品は、高品質な言語の解析と理解を提供する、強力かつ固有の構文解析エンジンを含みます。これらのツールは、言語の用法が危険であるか、過度に複雑であるか、移植性がないか、保守が困難であるために生じる問題を特定します。さらに、コーディング規約への準拠に必要な基本ビルドブロックが含まれています。

英国 Programming Research 社に関する詳細は www.programmingresearch.com をご覧下さい。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を内外の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカの詳細は、www.toyo.co.jp をご覧下さい。

英国 Programming Research 社製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション

Tel : 03-3279-0771 Fax : 03-3246-0645 E-mail : ss_sales@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社東陽テクニカ 経営企画室

Tel : 03-3279-0771 Fax : 03-3246-0645 E-mail : kikaku@toyo.co.jp

*記載されている会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。